



3. 西部市街地緑化重点地区緑化推進計画

(1) 概況と緑化推進上の課題

①地区の概況

- 本地区は、JR山前駅や県道桐生・岩舟線及び竜舞・山前停車場線沿道を中心に市街化が進んでいますが、都市計画決定されている4路線は地区内区間でいずれも未整備であり、都市公園も3箇所0.41haと量・質の両面から不足している状況にあります。
- 平坦な地形は、かつて農地として土地利用されていましたが、虫食い状に宅地化が進んだため生活道路などの都市基盤が不足しており、また比較的制限の緩やかな準工業地域に指定され、様々な用途の建物の立地が許容されたため、住宅地や店舗、工場や作業所などが混在している状況もみられます。
- 現在、地区の東端で北関東自動車道の整備が進められており、沿道環境が大きく変わろうとしているほか、周辺道路整備が計画されるなど、不足している都市基盤の整備が進められようとしています。
- 緑の要素としては、地区に点在する社寺境内地のまとまりのある緑のほか、農地や屋敷林、小河川や水路などがあげられますが、自然環境に恵まれた本市にあって、緑が少ない印象がある地区といえます。

②緑化推進上の課題

地区の概況を踏まえた、緑化推進を図る上での課題は次のように整理されます。

○空間的なゆとりを活かした良好な景観づくり

虫食い状に宅地化が進んでいますが、地区内には多くの農地が残されており、北側の山地・丘陵地を背景とした空間的なゆとりの感じられる景観が形成されています。こうしたゆとりある景観を維持するとともに、これらを活かすための効果的な緑化修景によって、住宅と工場などが混在する市街地の魅力を高めていくことが求められます。

○健やかでゆとりある暮らしを支える緑の拠点づくり

点在する社寺境内地の緑は、地区の目印となって市街地環境を維持するための重要な役割を担っていますが、日常的に利用できる身近な公園は量・質ともに不足している状況にあります。このため、社寺境内地の緑など、既存の緑地の維持・活用を図るとともに、新たな公園の整備・充実、駅や教育施設など公共的施設の緑化が不可欠となっています。

○都市基盤整備を契機とした地区の環境改善

北関東自動車道や都市計画道路の整備を契機とし、道路空間の緑化を推進するとともに、特に緑の不足が顕在化している幹線道路沿道の緑化を誘導することにより、道路景観の魅力を創出していくことが求められます。

図 地区の現況写真



JR山前駅



県道竜舞・山前停車場線沿道



山前小学校付近



愛宕神社付近の町並み



西中学校付近



愛宕神社付近の小河川

第5章
緑化重点地区における
緑化推進計画



(2) 計画のテーマと基本方針

①計画のテーマ

本地区は、北側の山地・丘陵地を背景として、平坦な地形が広がるゆとりある景観が形成されていることに特徴があります。その一方で、都市基盤が不足する中で虫食い状に市街化が進んでおり、住宅に隣り合って工場が立地するなど様々な用途の建物が混在している状況もみられます。

こうした地区の特性を踏まえつつ、今後、北関東自動車道をはじめとする都市基盤施設の整備が進むことも勘案し、花と緑を活用した修景によるゆとり(=『悠』)ある景観の維持と、その魅力の向上を進めることとします。

このため、計画のテーマを次のように設定し、地区の緑化を推進します。

【計画のテーマ】

花と緑が彩る『悠(ゆう)の景』づくり

②計画の基本方針

- 工業地等の修景、住宅地の緑化、農地や社寺林・屋敷林の保全などにより、ゆとりある景観の維持・改善を図ります。
- 都市公園の整備、公共施設の緑化を計画的に推進し、景観の目印となる拠点づくりを図ります。
- 市民との協働のもとで計画的な緑化・花づくりを進め、四季を通じて花を楽しむことのできる名所づくりを図ります。
- 特色のある花木による道路空間の緑化により、快適でゆとりのある軸づくりを進めます。

(3) 緑化推進計画

①ゆとりある景観の維持・改善

北側の山地・丘陵地を背景として広がるゆとりある景観の維持と、その魅力を一層高めるため、社寺林・屋敷林の保全や工場などにおける緑化修景を促します。

【検討する施策】

- ・背景となる山地・丘陵地の緑の保全
- ・中小工場の敷地内緑化の促進
- ・「緑化施設整備認定制度」の導入による商業業務地の緑化促進
- ・市民が主体となった地域のルールづくりの促進
- ・生垣助成制度など、市民が主体となった取り組みへの支援制度の充実

②ゆとりある景観の目印となる拠点づくり

教育施設などの公共施設の緑化を進めるとともに、都市公園の新設により、ゆとりある景観の目印となる緑地の創出を図ります。

【検討する施策】

- ・身近な公園の整備
- ・教育施設などの公共施設の緑化
- ・四季折々の花が楽しめる植栽・花づくり
- ・適切な維持管理の推進、市民参加の促進

③花と緑の名所づくり

桜や梅、菜の花やひまわり畑やコスモス街道など、一年を通してどこかで花を楽しむことのできる花の名所づくりを進めます。

【検討する施策】

- ・道路や河川に沿った特色ある並木道の整備
- ・公園等における、開花時期に配慮した樹木・花木の選定
- ・ボランティア等の参加による花畑づくりの促進

④快適でゆとりのある軸づくり

北関東自動車道や都市計画道路の整備を契機として、四季折々の花を楽しむことができる樹木や花の植栽により、ゆとりある景観を演出する道路空間の緑化を推進します。

【検討する施策】

- ・四季折々の花を楽しむことができる樹木や花による道路の緑化推進
- ・擁壁、ブロック塀、金属フェンスなどの緑化修景
- ・沿道民有地の道路境界部の緑化、プランターなどによる花の設置



図 西部市街地緑化重点地区緑化推進計画

